

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
オリジナル作品制作 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	下條慧			実務経験	有	職種	作編曲家				
担当教員紹介											
日本工学院専門学校サウンドクリエイターコースを卒業後、アーティストへの楽曲提供や映像音楽の制作など歌モノからインストまで多ジャンルに渡り制作を行ってきた経歴がある。											
授業概要											
楽曲の基本的な作曲法について学ぶ。 楽曲全体がどのように構成されているかを理解しコード、メロディ、各種アレンジについての考え方やアプローチの方法を学ぶ。 後半は各音楽ジャンルの基本的な作り方を専門の講師を招いた解説を行う。											
到達目標											
ベーシックな楽器編成で歌モノをワンコーラス作ることを目標とする。 楽曲の構成（イントロ、Aメロ、Bメロ、サビ）をコード進行や楽器隊のアレンジで上手く表現出来るようになる。 自分で作成したリードシートを実際に音楽として形にすることで論理的な思考で曲を作れるようになる。 小さな目標を毎週クリアしていくことで問題を打破していく能力を身につける。 他の授業で分からなかった点やさらに発展した内容を補完できるとなおい。											
授業方法											
この授業では、全体に向けた指導だけでなく生徒一人一人にヒアリングを行い、それぞれの生徒に合った指導を行う。個々の作業が中心となるので、楽曲の進捗や実力に合わせて指導の内容も変わるが、最終的には足並みが揃うように調整していく。 ほとんどの生徒が初めて本格的に曲を作るので、まずは曲作りに対しての苦手意識を持たないよう、より簡単などころからしっかりと基礎を固めていく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
授業の中で自発的に質問や意見を言えるような環境を構築できることが大切であるので、生徒には積極的な授業参加を求めるものとする。基本的には自分一人で作業を進めていく授業体系故、同じところで長く留まることことがないように自ら打開策を見つけられるよう努めることを求める。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	ダンスミュージックについて										
第2回	ダンスミュージックの作り方 1										
第3回	ダンスミュージックの作り方 2										
第4回	ダンスミュージックの作り方 3										
第5回	ロックについて										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
オリジナル作品制作2	
第6回	ロックの作り方1
第7回	ロックの作り方2
第8回	ロックの作り方3
第9回	ジャズについて
第10回	ジャズの作り方1
第11回	ジャズの作り方2
第12回	オーケストラについて
第13回	オーケストラの作り方1
第14回	オーケストラの作り方2
第15回	オーケストラの作り方3